

第709回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 国道210号川下改良 [九州地整]

…………… 大分県日田市

- ・ 国道210号川下改良は、筑後川と急崖な斜面に挟まれた日田市川下において、走行空間が狭く老朽化の進む加賀鶴トンネルや、落石・崩落の危険性が高い区間を迂回し、交通の安全性確保を目的とする事業。
- ・ この整備によって、災害時においても地域産業を支える信頼性の高い道路空間の形成、走行空間の確保及び視距不足箇所の解消に伴う事故等の減少により、道路利用者の安全・安心の確保といった効果が得られる。
- ・ 切羽鏡面や内空変位の自動計測、穿孔誘導システム等の技術を導入することにより自動化・省力化を押し進め、安全性向上や生産性向上を図っている。
- ・ 視察時はトンネルの施行中であり、切羽の状況や狭い場所での施工ヤード等の視察を行う予定。



2 金丸川・池町川浸水対策重点地域緊急事業 [福岡県]

…………… 福岡県久留米市

- ・ 一級河川筑後川水系金丸川・池町川では、平成30年7月豪雨、令和元年7月の大雨など、幾度となく浸水被害が発生している。
- ・ このため、国・県・市が連携して浸水対策に取り組んでおり、福岡県では本事業を令和2年度から行っている。
- ・ 本事業の1つとして、池町川を分岐させ、大雨の時には筑後川へ直接放流することで水位上昇を抑え、浸水被害を軽減するための地下放水路をシールド工により築造している。



3 アイランドシティはばたき公園整備事業 [福岡市]

…………… 福岡県福岡市

- ・ 福岡市は、博多湾東部におけるアイランドシティ周辺の海域・海岸域を「エコパークゾーン」と位置付け、自然環境の保全・創造、地域の生活環境向上に向けて様々な施策を展開している。
- ・ 本公園は、周辺の海域等と機能分担しながら、生物の生息空間を創出するとともに、人と自然との共生を象徴する空間として整備を行っている。
- ・ 雨水が溜まる人工の淡水湿地を創出し、湿地を利用する野鳥など多様な生物が生息する環境をつくることで、博多湾の豊かな自然環境に触れ合える公園となっており、令和9年度の全面供用を目指している。

